

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法 人 名	国立研究開発法人国立がん研究センター	
案 件 番 号	4	
入 札 及 び 契 約 方 式	一般競争入札（最低価格落札方式）	
契 約 の 件 名 及 び 数 量	米国イルミナ社製 次世代シーケンサーMiseq保守業務 一式	
契 約 締 結 日	2021年 3月16日	
契 約 の 相 手 方 の 商 号 又 は 名 称 等	家田化学薬品株式会社	
入 札 経 緯 及 び 結 果	2021年 2月24日公告 2021年 3月12日入札書等締切 2021年 3月15日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	無
②業務等準備期間の十分な確保	○	2021年4月1日から2022年3月31日までの契約期間に対し、2021年3月15日に開札し、一般競争入札（最低価格落札方式）により業者を決定した。 前回一般競争入札において、開札日から契約期間開始日まで9日間の業務等準備期間であったのに対して、今回は、開札日から上記契約期間開始日まで17日間の業務等準備期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	前回一般競争入札における公告期間が、土日祝日を除く10日間であったのに対して、今回は、公告期間を13日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	無（ホームページ掲載及び院内掲示を行った。）
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	○	入札説明書受領者数が1者であったため、業者等から聞き取りすることは出来なかった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
公告期間および準備期間について、従前以上に余裕をもったスケジュールを確保し入札を実施するとともに、参加が可能と思われる業者に入札公告を掲載していることをお知らせし参加を検討いただく。		
契約監視委員会のコメント		
連続して一社応札・応募になっている案件については次年度の契約にむけて一連のスケジュールを事前に組み、市場調査や入札広告の周知をできる余裕を持つこと。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
次年度の契約においては、契約締結までのスケジュールを作成のうえ、業者が参加しやすいよう充分な公告期間を確保すると共に、取扱業者へ積極的な声かけを行うことで競争性を高めることとする。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
小野 高史（監事）、増田 正志（監事）、長崎 武彦（外部有識者）、加藤 一郎（外部有識者）		

(注) 1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における一者応札・一者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注) 2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注) 3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。